

沖縄の畜産を応援

まーさん OKINAWA MA-SAN だより

農家のための
お役立ち情報!

夏号

2026 | Vol.6



最新情報は
こちら

子牛の価格を考える	2
季節の対策ポイント	4
公社からのお知らせ	6
沖縄県からのお知らせ	7
公社Report	8

季節の対策ポイント

暑熱対策の基本「水・塩・風」を 見直そう!

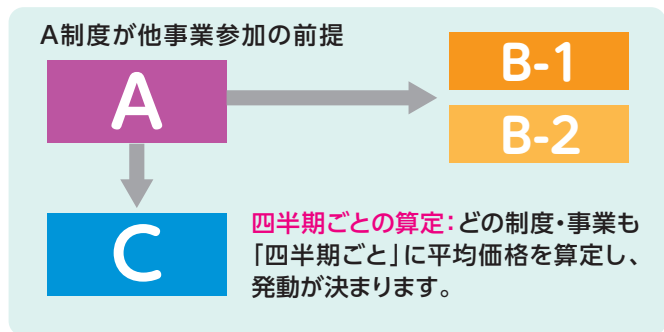


(撮影協力: 新里海都 氏(右)、陸都 氏(左))

子牛の価格を支える対策 (1つの制度と3つの事業)

制度・事業をうまく活用し経営の安定に努める

子牛の市場価格が思うように上がらない……。そんなときでも安心して経営できるよう、生産者の経営を支える制度があります。
ここでは、沖縄県で令和8年度に実施する対策をご紹介します。



子牛価格安定対策について

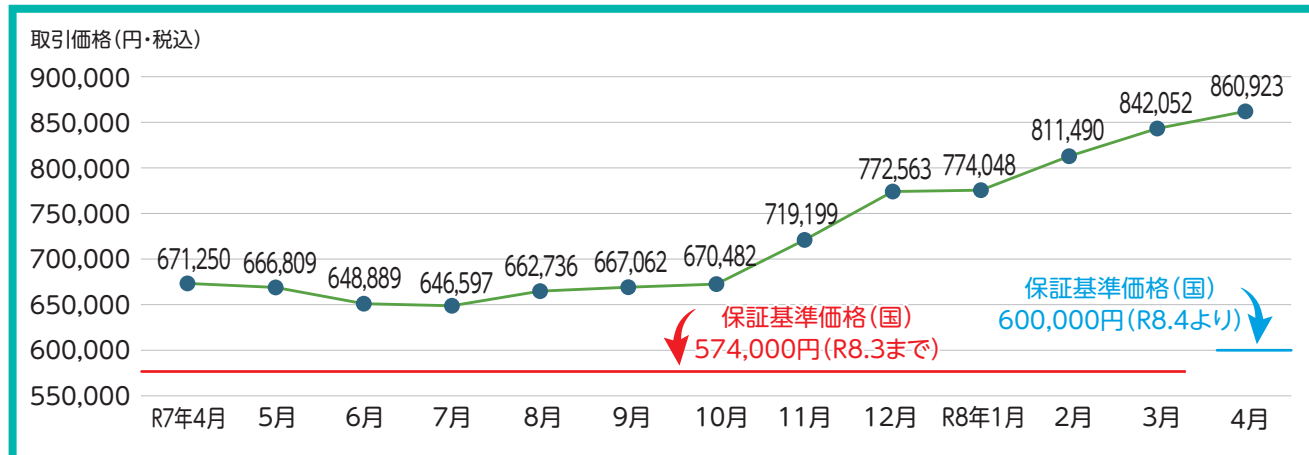
	A 「肉用子牛生産者補給金制度」 (全国)	B-1・2 B-1「優良子牛生産推進緊急支援事業」(全国) B-2「和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業」	C 「沖縄県和牛子牛価格安定事業」 (県)
	共通：四半期ごとに計算		
発動条件・交付額	(1)平均価格(全国)が保証基準価格を下回った場合 保証基準価格: 600千円 (2)保証基準価格と平均価格の差額(100%)を補給金として交付する。	[B-1] (1)平均価格(九州・沖縄ブロック地区)が発動基準を下回った場合 (2)発動基準に応じた奨励金(1万～3万円/頭)を取り組み数に応じて交付する。 発動基準: 620千円(1万円/頭) 610千円(2万円/頭) [B-2] (1)上記B-1が発動した際に、産地基盤強化取組メニューに取り組んだ生産者に交付 (2)奨励金(5万円/頭)を上記の奨励金に上乗せして交付	(1)県内雌子牛の平均価格が保証基準価格を下回った場合 保証基準価格: 557千円 (2)保証基準価格と雌子牛の平均価格の差額(90%)を交付する。
対象牛	○性別問わず ○6ヶ月～12ヶ月齢の間に販売されたことが分かる個体 ○12ヶ月齢に達した際に自家保留確認された個体	○性別問わず ○6ヶ月～12ヶ月齢の間に販売されたことが分かる個体 ※B-2については下記を追加 ○12ヶ月齢に達した際に自家保留確認された個体	○雌子牛 ○6ヶ月～12ヶ月齢の間に県内家畜市場で販売されたことが分かる個体 ○12ヶ月齢に達した際に自家保留確認された個体
積立金	生産者(1/4) 400円/頭 沖縄県(1/4) 400円/頭 機構(1/2) 800円/頭 計 1,600円/頭	なし	生産者 5,000円/頭 沖縄県 5,000円/頭 計 10,000円/頭
その他	(1)A制度の契約締結 (2)生後2か月以内に「補給金個体登録申込書」をJAに提出する。	A制度の個体登録が必須	(1)C事業の契約締結 (2)A制度の個体登録が必須

※発動に関する適用は、令和8年4月以降の売買価格となります。

全国子牛市場の価格変動トレンド

全国セリ価格、保証基準を大きく上回り安定推移

全国の家畜市場における黒子牛平均取引価格(雌・去勢の平均:令和7年4月～令和8年4月)

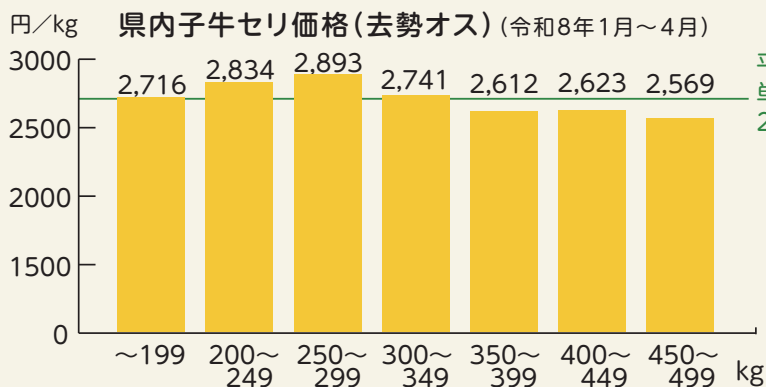


出典:全国セリ市場データ 公社集計

表のとおり、現在、子牛の価格が上昇傾向のため補給金が発動されていない状況ですが、万一に備えて国の補給金や県和牛の契約は忘れずに。また、毎月の個体登録申込、JAへの相対販売報告、保留確認についても、確実に実施されているかご確認ください。

コラム 01

250kg超の黒子牛、取引価格は平均を上回る傾向



体重(kg)	日齢体重(kg/日)
～199	0.664
200～249	0.845
250～299	0.981
300～349	1.102
350～399	1.222
400～449	1.334
450～499	1.500

コラム 02

トレサ、きちんと対応していますか? ～牛トレーサビリティ法～

牛が生まれたときや出荷・死亡したときには、家畜改良センターへトレサ情報を忘れずに!届出を忘れてしまうと、補助事業の対象外になることもあるので注意が必要です。大切な牛の記録は、農家さんの経営を守る情報でもあり、同時に消費者への、信頼と安心につながります。



届出窓口

Webサイト
<https://www.id.nlb.go.jp/>にアクセス→
「届出webシステム」へ



音声ガイド電話
 固定電話から:186-0037-80-1777
 携帯電話から:186-0248-48-0594



SUMMER

暑熱対策の基本 「水・塩・風」を見直そう!

(ミネラル)

気象庁の暖候期予報では、2026年夏の平均気温は「平年より高い」見込みとされています。暑熱ストレスは、採食量や受胎率の低下など、牛の健康や生産成績に大きく影響します。本格的な暑さを迎える前に、“今すぐできる暑熱対策”を実践してみましょう。

水

給水器(水槽)の清掃で採食量アップ

給水器が汚れていると、牛の飲水量が低下し、その結果として採食量の減少につながる可能性があります。たとえ、1日1回の簡単な清掃であっても、飲水行動が改善されることがあります。常温環境下(4~25℃)における肉用牛(体重約450kg)の飲水量はおよそ30ℓ程度とされていますが、高温時にはさらに増加します。そのため、常に清潔で「新鮮な水」を供給することが重要です。



塩

(ミネラル)

こうえん 鉋塩でルーメン環境をサポート

暑さでよだれが増えると、牛はアルカリ成分を失いやすくなります。その結果、第一胃が酸性に傾く「ルーメンアシドーシス」のリスクが高まります。鉋塩を自由に舐められる環境を整え、十分な飲水と唾液分泌につなげましょう。



★ I POINT

給餌時間の工夫も重要

暑い時間帯を避けた給餌を

牛がエサを食べた後、発酵熱が発生するのは3~6時間後とされています。気温が高くなる時間帯と重ならないよう、早朝や夕方に給餌を集中させることも効果的です。





扇風機のちょこっと掃除で風速アップ&省エネ!

ファンやカバーにホコリが付着すると、送風力が低下し、電気効率も悪くなります。今回、現地で扇風機の風速調査を実施したところ、掃除前・後で風速に大きな違いが見られました。電気代も節約、送風効果も向上!



Before/清掃前



ホコリが付着し、風の通りが悪い状態

After/清掃後



カバー清掃後は風速が向上し、送風効率も改善

! 「送風」と「換気」は違います

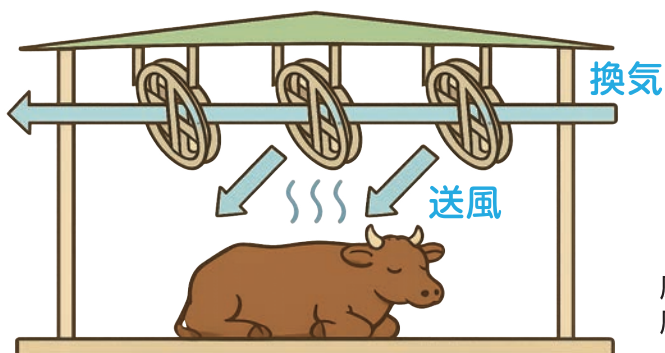
送風

牛に風を当て、体感温度を下げる

換気

湿気・熱・アンモニアを牛舎外へ排出する

どちらも暑熱対策には重要です。



換気・送風は、暑熱対策だけでなく、湿気やアンモニア対策にもつながります。

! 風は繁殖管理にも重要です

沖縄県畜産研究センターの調査では、高湿度や風速低下によって受胎率が低下する傾向が報告されています。暑熱対策は、牛の快適性だけでなく、繁殖成績の向上にも重要です。



▶ 風が牛に与える効果

風速1m/s → 体感温度: 約-6°C

風速2m/s → 体感温度: 約-8°C

(引用: 養牛の友2025年6月)

(記事提供: 非常勤コンサルタント 知念 雅昭 氏)

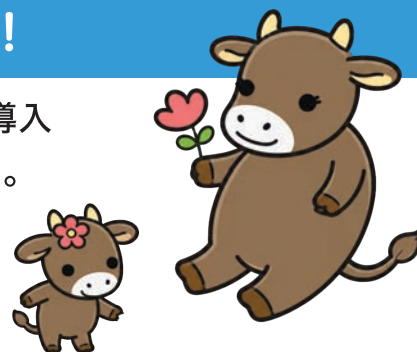


更新奨励金の支援を活用し、 若い優良な和牛の導入に取り組みましょう

高齢の母牛から生まれた子牛は、市場での評価が伸びにくい傾向にあります。
そこで、公社では若くて肉質も体格も良い母牛への入れ替えを応援しています。

補助事業の条件にあった更新をすると、
奨励金が出ます！

高齢の繁殖雌牛※¹を出荷して、新しく優良な繁殖雌牛※²を導入
(自家保留)した場合、右の奨励金が交付されます(最大25頭まで)。



どんな人が対象？

「畜産クラスター計画」に参加し、
協議会にこの事業の申請をして
いる農家さんが対象です。

※令和7年度に引き続き、令和8年度も沖縄県
から上乗せ(上限約18万円/頭)があります

牛のタイプ	奨励金額
優良な繁殖雌牛 令和7年から、県有種雄牛「美百合」も対象。	10万円/頭
希少な父牛の 血統を持つ繁殖雌牛	15万円/頭

どういう牛が対象？(主な条件)

※¹ 出荷する高齢牛

- 令和7年末以前から飼育している
牛で令和8年(1/1~12/31)に120ヵ月
以上で販売等した牛

※令和6年1月1日以降に、
120ヵ月齢以上で導入
した繁殖牛は対象外



※² 導入する若い牛

- 令和8年末時点で満9ヵ月
- 導入時点で満14ヵ月未満(初妊牛は例外)
- 育種価は脂肪交雑を除いた5つの産肉
形質のうち、2つが県内上位1/2以内
(MUFAやオレイン酸でも代替可であるが事前協議
が必要)

詳しくはこちらから
(担当:伊敷)





未来の牛群づくりを支える3つの支援

沖縄県では、繁殖雌牛の改良や更新を支援するため、沖縄県畜産生産基盤強化支援基金を活用した各種事業を実施しています。優良雌牛の導入支援や受精卵移植(ET)、ゲノム解析などを活用し、将来を見据えた牛群改良と生産基盤強化を後押しします。

	① 優良繁殖雌牛導入支援事業 高年齢牛の更新を支援します 10歳以上の高齢繁殖雌牛を出荷し、優良雌牛を導入する場合、更新費用を支援します。	② 肉用牛ET活用事業 受精卵移植を活用した改良支援 優良繁殖雌牛からの採卵・受精卵移植に係る経費を支援します。	③ 肉用牛ゲノム活用事業 ゲノム解析で改良をサポート 新規登録される繁殖雌牛(審査得点80.0点以上)を対象に、ゲノム(遺伝子情報)解析を実施します。
支援内容	1頭あたり最大18万円支援(国事業への上乗せ)	補助率 1/2以内 上限5万円	枝肉形質、食味性、繁殖性、飼料利用性、抗病性、遺伝子疾患
対象	10歳以上の高齢繁殖雌牛を更新する農家	沖縄県基礎雌牛または育種価・ゲノミック評価で県内上位500位以内の繁殖雌牛	
ポイント	自家保留も対象 希少血統導入も支援	高能力牛を効率的に増やすことで、牛群改良につながります。	牛の能力を早期に把握でき、交配計画や飼養管理に活用できます。 費用：農家負担なし

詳細については、沖縄県畜産課生産環境基盤班へご相談ください。



県有種雄牛「幸紀照重」号の実力

—高額取引が続く産子の実績まとめ—

令和8年1月～5月のあいだに、県内家畜市場で高額で取引された「幸紀照重」の上位5頭については下の表のとおりです。



県有種雄牛「幸紀照重」の県内家畜市場取引状況まとめ(令和8年1月～5月)

雌雄区分	順位	販売価格(税込)	母の父の名号	母の祖父の名号	体重	日齢	D G
去勢	1	948,200	百合白清2	美津照重	312	273	1.14
	2	924,000	秀幸福	華春福	302	261	1.15
	3	914,100	美津照重	百合茂	340	305	1.11
	4	886,600	秀幸福	美国桜	305	305	1.00
	5	850,300	安糸福	平茂勝	370	336	1.10
メス	1	826,100	秀幸福	華春福	273	311	0.87
	2	760,100	福福波	金幸	285	338	0.84
	3	743,600	福之姫	百合茂	274	286	0.95
	4	741,400	北福波	安福久	298	311	0.95
	5	737,000	豊奨菊	喜亀忠	265	313	0.84

★去勢上位5頭の平均額が904,640円、メス上位5頭の平均額が761,640円となっております。

★県内8市場の平均価格:779,295円(R8年.1～5月) ★「幸紀照重」の平均価格:791,806円(出荷頭数17頭)

幸紀照重についての問合せは畜産研究センター育種改良班へご相談ください。



令和8年度事業説明会 本島・離島あわせて8地区で開催!

令和8年4月20日から5月7日にかけて、県内8地区において事業説明会を開催しました。説明会には多くの生産者の皆様にご参加いただき、各種事業に関する質問や、現場ならではの貴重な意見を多数いただきました。いただいたご意見等につきましては、今後の事業運営や業務推進に活かしてまいります。また、開催にあたりご協力いただきましたJA、市町村役場をはじめ関係機関の皆様へ、心より感謝申し上げます。



表紙の人に聞きました

Voice



新里海都 氏(左)、陸都 氏(右)

家族で助け合いながら育てる 「循環型家族経営」が強みです!

Q1 本業にされたきっかけは?

大学時代に自分で育てた牛を競りに出して、高く売れたことがきっかけです。手をかけた分、成果が目に見えるおもしろさに惹かれたのもきっかけですね。いまは家族4人で酪農・バイオ・畜産の3つを営んでいます。

Q2 日々のこだわりを教えてください!

こだわりは「品質」と「血統」です。ただ大きくするだけではなく、餌には添加剤は多く使わないとか、家畜改良事業団の精液を使うとか。人工授精師と受精卵移植師の資格を取得したのも品質にこだわるためです。

Q3 新里家の強みを教えてください。

家族で営む「循環型の畜産」ですかね。乳牛のお腹を借腹として、黒和牛の受精卵を移植して黒子牛を産む→搾乳→乳牛の糞尿を使ってバイオ液肥を作り草地に撒く→栄養度の高い生草を育てて餌にする。質のいい牛を育てるために、家族で助け合いながら育てています。

続きは
WEB
お知らせへ

